

僕の希望を宇宙につなぐ

筑波大学附属小学校 四年 植木 悠晴

「青くて美しい地球を見てみたい。」
 これが、僕が宇宙飛行士になりたいと思った一番の理由だ。
 宇宙に行って新しい物質を発見し、地球を美しくする事も僕の夢だ。

今、宇宙では、十五カ国が協力して作った国際宇宙ステーションがなくなろうとし、中国やロシアが独自で宇宙ステーションを建設している。僕は、これから世界中が宇宙を自分の手にしようと宇宙戦争が起き、多くの命が失われたり、宇宙船や人工衛星のゴミ問題で地球が汚染されていくのではないかと不安でたまらない。一方、地上でも多くの国で戦争や内紛が続いている。

以前、ソユーズ宇宙船に乗ったファリス飛行士はこう言った。
 「宇宙から見た地球に、国境の傷跡はどこにも見当たらなかった。」と。

「宇宙から見た地球に、国境の傷跡はどこにも見当たらなかった。」と。

世界中の人が宇宙に行って「国境のない地球」を見る事が出来たら、争いがなくなり皆で協力して地球を守れるのではないかと僕は思う。だから、誰でも宇宙に行ける時代を目指して、宇宙エレベーターの開発など、航空宇宙分野の事業に携わり技術力を磨き、ミッションスペシャリストとして宇宙に行くのだ。

今回ライフプランを作成し、宇宙飛行士になるには、健康な体以外に、世界中の人と会話ができる語学力、自分の意思を伝え相手を理解できるコミュニケーション能力、一つのミッションをチームで成し遂げるためのチームワーク力、限られた宇宙空間での業務に長期間携わるための忍耐力、緊急事態でも冷静な対応ができる決断力が必要であると知った。

僕は、専門知識の習得だけでなく、語学力を身につけながら、色々な国の人々と異文化に触れ、多様な価値観を理解できるグローバルな人になれるような体験を重ねたい。

僕らが今いる、たった一つの美しい奇跡の星「地球」を守るために。

植木 悠晴 のライフプラン

将来なにになりたいか？ 宇宙飛行士

その理由：青くて美しい地球を守りたいから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2022年	10才(小4)	視力検査、歯みがきなど、宇宙飛行士に必要な健康な体作り。	習い事代(英語、水泳)
2023年	11才(小5)	種子島宇宙センターに行く。英語の絵本を読む。習い事辞める。	旅費、書籍代
2024年	12才(小6)	忍耐力を養うため、ホワイトパズル1000ピースを完成させる。	↓
2025年	13才(中1)	中学に入学し、テニス部に入り、体力、チームワークを身につける。	授業料、部活動費
2026年	14才(中2)	アメリカを旅行し、ケネディ・ジョンソン・ヘーストン宇宙センターを見学。	旅費
2027年	15才(中3)	テニス部で部長になり、リーダーシップを学ぶ。	↓
2028年	16才(高1)	オンライン英会話を始めて異文化コミュニケーションを図り、語学力をアップ。	授業料、オンライン英会話代
2029年	17才(高2)	休みに海外のサマースクールに参加し、外国の友人と交流する。	サマースクール代
2030年	18才(高3)	大学受験に向けて猛勉強！	↓、しゅく代
2031年	19才(大1)	航空宇宙学が学べる大学に入学。ロシア語、中国語を習い始める。	授業料、ロシア語、中国語代
2032年	20才(大2)	無重力のスカイダイビングスクーパータイピングに挑戦。	スカイダイビングスクーパータイピング
2033年	21才(大3)	矢張り留学。バックパッカーで旅をして世界を知る。	留学費、旅費
2034年	22才(大4)	研究室で専門知識を高め、卒業研究を仕上げよう。	
2035年	23才(修1)	JAXAと連携している研究室で研究を仕上げよう。	
2036年	24才(修2)	京大職活動に参加しよう。	京大職活動費
2037年	25才(入社)	航空宇宙公団に入社する企業に入社。	
2045年	33才	選抜予選試験、訓練を全て、ミッションスペシャリストとして、未来の宇宙飛行士。	

※最後の行は、荷歳の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう！